

展示室 1 銅版画で見るイギリスの風景



ポール・サンドビー
「聖アウグスチヌス修道院の大門、
カンタベリー」

18 世紀のイギリスでは教養のある上流階級の子弟の間で、古典芸術に描かれたイタリアの風景を巡るグランド・ツアーが盛んに行われていました。一方で 18 世紀後半、ウィリアム・ギルピンが「ピクチャレスク」という概念を提唱し、イギリス国内の美しい風景を訪ねる国内旅行が流行します。

ターナーを初め、多くの画家がイギリス各地のピクチャレスクな風景を銅版画に起こし出版しました。そのほとんどは画家と彫版師との連携によって制作されています。画家が描く美しい風景と、高度な技術で版画に表した彫版の巧みさをご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ポール・サンドビー	ウォリック城シーザー塔	1778-82	水彩、インク・紙
ポール・サンドビー	『ウェールズ 12 景』第 1 部より 3 点	1775	アクアチント、エッチング・紙/ポートフォリオ
ポール・サンドビー	『ウェールズ 12 景』第 3 部より 2 点	1777	アクアチント、エッチング・紙/ポートフォリオ
ポール・サンドビー	聖アウグスチヌス修道院の大門、カンタベリー	1782	アクアチント・紙
トマス・ガーティン	エア川沿いのカークストール修道院	1824	メゾチント・紙
トマス・ガーティン	フォッス川沿いのヨーク大聖堂		メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	海と空の習作	1825 頃	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	クローヴェリー湾、デヴォンシャー	1824	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ドーバー海峡	1827	エッチング、ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カリュー城、ペムブローク		ラインエングレーヴィング・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	アーヴロン川の水源		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	ノラム城		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	スペンサーのフェアリー・クイーン		エッチング、メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	カンバーランド州のコールダー・ブリッジ	1810	油彩・キャンバス
ジョン・コンスタブル	デダム谷	1802	油彩・紙、キャンバス
ジョン・コンスタブル	『イングランドの風景』より 4 点	1830-2	メゾチント・紙/ポートフォリオ
ジョン・コンスタブル	虹、ソールズベリー大聖堂	1834-7	メゾチント・紙
ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー	コニストンの荒地	1797 頃	水彩、鉛筆・紙
トマス・ゲインズボロ	荷馬車のある丘陵地帯の森の風景	1745-46	油彩・キャンバス
サー・エドワード・コリー・バーン＝ジョーンズ	フローラ	1868-84	油彩・キャンバス
アルバート・ジョゼフ・ムーア	黄色いマーガレット	1881	油彩・キャンバス
ジョン・ウィリアム・ウォーターハウス	フローラ	1914 頃	油彩・キャンバス
リチャード・ウィルソン	キケロの別荘		油彩・キャンバス
ウィリアム・ホガース	サミュエル・マーティンの肖像	1758-60 頃	油彩・キャンバス
サー・ジョシュア・レイノルズ	エグリントン伯爵夫人、ジェーンの肖像	1777	油彩・キャンバス
トマス・ゲインズボロ	オース夫人の肖像	1767	油彩・キャンバス
ウィリアム・ギルピン	『風景六種』	1798	エッチング、アクアチント・紙/ポートフォリオ
トマス・ガーティン/ジョゼフ・マロード・ウィリアム・ターナー他	『リンカーン州の名所風景』	1797-1801	ラインエングレーヴィング・紙/本
ジョン・ヴァーレー	『遠近画法と風景画の構想についての論文』		エッチング、アクアチント・紙/本
リチャード・アークム	『真実の書 (リーベル・ヴェリタティス)』第 2 巻		エッチング、メゾチント・紙/本

展示室2 明治の絵画—画家たちの挑戦—



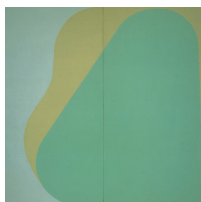
五姓田芳柳「風俗図屏風」

開国以降、本格的にもたらされた西洋の絵画技法に意欲的に取り組んだ画家たちは、風景や人物の表現に新境地を開きました。高橋由一や亀井竹二郎らは、明治の初期にいち早く油彩を用いて写実的な表現を試みた先駆者です。五姓田芳柳らは、来日した外国人の土産用に日本の風俗を描いて人気を誇りました。西欧への渡航がふえると、原撫松をはじめ多くの画家が英国に留学します。明治後期には、西欧の芸術思潮を受け入れながら、日本人の自然感や感受性を意識する画家たちが現われました。

今回の特集では、時代の感性に呼応しつつ、絵画表現を真摯に追い求めた明治の画家たちの作品をご覧ください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
チャールズ・ワグマン	西洋紳士スケッチの図	1870年代	油彩・キャンバス
高橋由一	風景（鳥海山）	1880代	油彩・キャンバス
亀井竹二郎	「石版・懐古東海道五十三駅真景」油彩原画より 金谷驛 興津驛 吉原驛 大磯驛 川崎驛	1877-78（明治10-11）	油彩・紙
五姓田芳柳	風俗図屏風		水彩・紙
諫山麗吉	甲州猿橋		油彩・キャンバス
山本芳翠	園田銚像	1885（明治18）	油彩・キャンバス
伊藤快彦	夏の静物		油彩・板
百武兼行	風車のある風景	1877（明治10）	油彩・キャンバス
原 撫松	奈良の夕	1911（明治44）	油彩・キャンバス
小林万吾	朽葉の袖	1907（明治40）	油彩・キャンバス
高村真夫	風景	1903（明治35）	油彩・キャンバス
高木背水	英国帝室植物園		油彩・キャンバス
浅井 忠	収穫	1893（明治26）頃	油彩・キャンバス
白滝幾之助	編物をする少女	1895（明治28）	油彩・キャンバス
岸田劉生	銀座数寄屋橋	1909（明治42）頃	油彩・板
岸田劉生	銀座と数寄屋橋畔	1911（明治44）頃	油彩・板
高橋勝蔵	桃と葡萄	1909（明治42）頃	油彩・キャンバス

展示室3 抽象絵画を楽しむ



リチャード・ゴーマン
「フラット
（ナイン・ペインティングスより）」

抽象絵画は、人物や風景など具体的なものを見たままに描くのではなく、作品を形や色によって構成しています。同じ形であっても、色や配置の違いによって、受ける印象はまったく違うものになります。

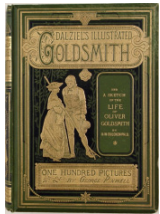
リチャード・ゴーマン（1946年生）は、次のように言っています。「私の作品には、メッセージ性や解説的な要素は含まれていません。色彩や形の織りなす絶妙なバランスこそが私の作品にあります。」（『リチャード・ゴーマンII』展カタログ [2010年、三鷹市美術ギャラリー、他開催]より）

見えるものの再現から解放された抽象絵画をお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・材質
ベン・ニコルソン	ワン・イン・ワン	1978	ミクストメディア・メゾチント
デイル・バーバラ・ヘップワース	ふたつのフォルム、青	1958	油彩・ボード
ヴィクター・パスモア	ワインレッド (version 1)	1964	レリーフペインティング・パネル
アラン・グリーン	ドローイング 336	1995	ミクストメディア・紙
アラン・グリーン	ドローイング 339	1995	ミクストメディア・紙
リチャード・ゴーマン	フラット（ナイン・ペインティングスより）	2000	油彩・キャンバス
今井俊満	コンポジション 23	1959（昭和34）	油彩・キャンバス
佐藤敬	石の対話	1958（昭和33）	油彩・キャンバス
吉原治良	円・赤	1969（昭和44）	シルクスクリーン・紙
吉原治良	円・白	1969（昭和44）	シルクスクリーン・紙
勝呂忠	ひろがり（A）	1962（昭和37）	油彩・樹脂・キャンバス
勝呂忠	浮遊する3本の線	1989（平成元）	油彩・キャンバス

作者名	作品名	制作年	技法・材質
堂本尚郎	1962 - 18 (二元的なアンサンブル)	1962 (昭和 37)	油彩・キャンパス
鎌田正蔵	作品 B	1956 (昭和 31)	油彩・キャンパス 鎌田正蔵氏寄贈
佐藤昭一	作品 63	1963 (昭和 38)	セメント、顔料・板 寄託作品

展示室 4 美しい本の世界



ディエル兄弟 (刻)
『ディエルのゴールドスミス作品集』

私たちにとって、とても親しみやすく身近な芸術作品ともいえる書物。内容はもちろんですが、装丁、表紙、文字、挿絵には、本を手にする人を惹きつける芸術的な魅力があふれています。イギリスは、数多くの「美しい本」を世に送り出している国のひとつです。世界三大美書といわれているものはすべてイギリスの本で、ここでご紹介する『ジェフリー・チョーサー作品集』はそのうちの一冊です。また、日本でも多くの画家や版画家たちが本の挿絵を手掛けました。

思わず手にとってみたくなるような装丁、美しい挿絵。今回は、イギリスと日本の「美しい本」をご紹介します。作家の趣向が凝らされた本の世界をどうぞお楽しみください。

作者名	作品名	制作年	技法・形状
トマス・ビューイック	『博物図集』	1809	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	『イギリス風景画集』	1863	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	『救世主イエス・キリストの寓話』 (再版)	1864	木口木版/本
アーサー・ジョセフ・ギヤスキン (画)	S. ペアリング・グールド編『童謡集』	1895	木口木版/本
リュシアン・ピサロ (画)	C. ペロー『眠れる美女と赤ずきん』	1899	木口木版/本
ローレンス・ハウスマン (画)	C. ロセッティ『ゴブリン・マーケット』	1893	ラインブロック/本
サー・エドワード・コーリー・バーン=ジョーンズ (画)	J. O. ハリウェル編『ウェルズのパーシヴァル卿』	1895	木口木版/本
ウィリアム・ブラウン・マクドゥーガル (画)	J. キーツ『イザベラ (バジルの壺)』	1898	木口木版/本
ジョン・ナッシュ (画・刻)	H. E. ベイツ『花』	1935	木口木版/本
エリック・ウィリアム・ラヴィリアス	L. A. ジョージ『辻馬車とハト』	1935	木口木版/本
山下清澄	『七つの幻想庭園』 (アンドレ・P・マンティアル著)	1983 (昭和 58)	カラーエッチング、アクアチント/ポートフォリオ
田中恭吉 恩地孝四郎	『月に吠える』 (萩原朔太郎著、感情詩社、白日社出版部)	1917 (大正 6)	木版他/本
山本芳翠 (挿画)	『蜻蛉集』 (ユディット・ゴージェエ著)	1884 (明治 21)	
川西英	『曲馬写生帖』 (版画荘)	1934 (昭和 9)	木版/本
川西英	『CARMEN』 (版画荘)	1934 (昭和 9)	木版/本
川西英	『書窓版画帖十連聚其二 港都情景』 (アオイ書房)	1941 (昭和 16)	木版/本
川上澄生	『書窓版画帖十連聚其三 文明開化往来』 (アオイ書房)	1941 (昭和 16)	木版/本
関野準一郎	『書窓版画帖十連聚其五 東京の窓』 (アオイ書房)	1942 (昭和 17)	エッチング/本
武井武雄	『書窓版画帖十連聚其六 宇宙説』 (アオイ書房)	1942 (昭和 17)	エッチング、ドライポイント/本
逸見享	『書窓版画帖十連聚其七 水韻譜』 (アオイ書房)	1942 (昭和 17)	木版/本
勝呂忠	『ハヤカワポケットミステリーブック』 表紙原画より 「カリブソ」他 11 点	1926 (大正 15) - 2010 (平成 22)	油彩・キャンパスボード
サー・エドワード・コーリー・バーン=ジョーンズ (画)	F. エリス編纂『ジェフリー・チョーサー作品集』	1896	木口木版/本
サー・エドワード・コーリー・バーン=ジョーンズ (画)	W. モリス『世界の果ての泉』	1896	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	W. ワーズワース『詩集』	1859	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	R. ピゴット編『人の一生』	1866	木口木版/本
ディエル兄弟 (刻)	『ディエルのゴールドスミス作品集』	1875	木口木版/本

展示室 4 暮らしを彩る



クリストファー・ドレッサー
「クラレットジャグ (ぶどう酒用容器)」

生活に深くかかわる器や道具は、私たちの日々の暮らしを豊かに彩る役割を果たしています。もともと、工芸品には、目を楽しませ、心を和ませるような色やかたち、質感などと同時に実用性が求められます。すぐれた作品には、作家の個性、アイデア、卓越した技と機能美がみごとに調和しています。

今回は、郡山市出身のガラス工芸家佐藤潤四郎とイギリスの 19 世紀末の工芸デザイナー、クリストファー・ドレッサーの秀作を展示します。食を包み、物を入れ、空間を飾った工芸品の数々をご覧ください。

作者	作品名	制作年	技法・材質
佐藤潤四郎	オリンピックブルー硝子皿	1941(昭和16)頃	宙吹
佐藤潤四郎	皿(グリーン)		宙吹
佐藤潤四郎	ルーマー杯・なみなみのワインを		宙吹・グラヴェール、ブランツ
佐藤潤四郎	植物文瓶		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	葡萄文ワイングラス		宙吹・グラヴェール 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎デザイン・カガミクリスタル制作	『スーパーニッカ』手吹きボトル	1962(昭和37)頃	宙吹 川崎清氏寄贈
佐藤潤四郎デザイン・カガミクリスタル制作	ウィスキーボトル『インペリアル』		機械生産 サントリー提供
佐藤潤四郎	タンブラー		型吹・グラヴェールなど 佐藤久枝氏寄贈
佐藤潤四郎	灰皿		型押し
佐藤潤四郎	花器・穴があいてちょっと考えた	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹・カット
佐藤潤四郎	ブルー花器		宙吹
佐藤潤四郎	花器(カレット入り)		宙吹・カレット封入
佐藤潤四郎	花器・ちょっと考えて(樹)		宙吹・グラヴェール
佐藤潤四郎	オブジェ・羊車	1980-82(昭和55-57)頃	宙吹・ブランツ
佐藤潤四郎	鍛鉄吹込花器(顔)	1986(昭和61)	鍛鉄吹込
佐藤潤四郎	水差		宙吹・カット
佐藤潤四郎	クリスタル六角鉢		宙吹
クリストファー・ドレッサー	ファイヤー・ドッグ		真鍮
クリストファー・ドレッサー	真鍮製燭台		真鍮
クリストファー・ドレッサー	スプーン・ウォーマー		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	クラレットジャグ(ぶどう酒用容器)		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	六角型薬味入れセット		ガラス、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	シュガー・バスケット(穴あきふるい付き)		金属、銀メッキ
クリストファー・ドレッサー	ナイフとフォークのセット		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	ミルク入れ	1880	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	トーストラック(ポイントアーチ型)	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きダブル・バスケット	1881	金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	塩入れとスプーン	1884	銀
クリストファー・ドレッサー	銀製ティーセット	1885	銀、象牙、金メッキ
クリストファー・ドレッサー	柳編み把手付きケトル		金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	草花象嵌模様足付皿		銀、銅、真鍮
クリストファー・ドレッサー	緑釉サラダボール(サーバー付)	1879-82頃	陶器、金属、電気メッキ
クリストファー・ドレッサー	色絵草花模文隅切角皿	1886	陶器
クリストファー・ドレッサー	黄緑釉水差(一対)	1892-95	陶器

ロビー展示 彫刻・他

作者名	作品名	制作年	技法・材質
●1階			
細川宗英	装飾古墳シリーズ9	1963(昭和38)	セメント 細川明子氏寄贈
笠置季男	躍進	1958(昭和33)	セメント
アントニー・ゴームリー	量子雲 XXIII	2000	ステンレス・スチール棒
アントニー・ゴームリー	領域 XIII	2000	ステンレス・スチール棒
●2階展示ロビー			
佐藤潤四郎	陶器で仏足跡2 / 石で仏足跡		陶器 / 石 寄託作品
北村四海	井冰鹿の娘	1917(大正6)	大理石
柳原義達	女の首	1958(昭和33)	ブロンズ
佐藤忠良	群馬の人	1952(昭和27)	ブロンズ
アリスティード・マイヨール	もの思い	1930	ブロンズ 大高善二郎氏寄贈
●前庭			
バリー・フラナガン	野兎と鐘	1988	ブロンズ